

資料提供	
平成30年8月1日	
担当課 (担当者)	県立博物館 学芸課 (大嶋)
電話	0857-26-8044

県立博物館歴史民俗展示室において

特集展示 明治150年記念「幕末・明治の鳥取」の第1期展示

「明治維新がやってきた 西園寺公望と山陰道鎮撫使」を開催中です

平成30年(2018)は、明治元年(1868)から起算して満150年に当たります。

幕末から明治初年にかけての時代は、「武士の時代」から「平民の時代」へと社会の構造が劇的に変化をとげ、新来の西洋文化によって人々の生活は大きく変容するなど、まさに激動の時代であったといえます。

当館では、館蔵資料を中心に激動の幕末から明治の鳥取県を4期にわけて特集展示を開催します。その第1期として、明治元年2月、鳥取藩民がはじめて明治維新を経験した「山陰道鎮撫使(さんいんどうちんぶし)」を取りあげて展示します。

については、県民のみなさんに広く周知するため、取材をお願いします。

記

- 1 展示テーマ 特集展示 明治150年記念「幕末・明治の鳥取県」
第1期「明治維新がやってきた 西園寺公望と山陰道鎮撫使」

※山陰道鎮撫使…慶応4年(明治元年)1月4日、官軍と旧幕府軍が争った「鳥羽伏見の戦い」の最中、天皇の退避路を確保するために派遣された使節。総督は、のちに総理大臣となる若き日の西園寺公望(さいおんじきんもち)。薩摩・長州の藩兵ら約500人が山陰道を行軍し、2月5日から20日まで鳥取城下に駐屯した。

- 2 主催 鳥取県立博物館

- 3 主な展示内容

・西園寺公望本陣の宿札(個人蔵)

西園寺が由良宿(北栄町由良宿)の佐伯家に宿泊した際に門柱に掲げられた宿札。

・高見尚政「年々略誌」(個人蔵)

松河原村(現、大山町)の神主高見尚政の日記。鎮撫使が下市宿(現、大山町)で休憩した時のことが記される。

・池田慶徳所用「冠」(館蔵)

最後の鳥取藩主池田慶徳が使用した正装用の冠。

- 4 展示期間 平成30年7月24日(火)から平成30年9月24日(月・祝)まで

- 5 会場 鳥取県立博物館 歴史・民俗展示室 近現代コーナー

- 6 入館料 常設展示観覧料180円(団体150円)

- 7 今後の予定

第2期 「志士から初代県知事へ 河田左久馬とその時代」

会期：9月26日(水)から11月9日(金)

第3期 「地図・刷物にみる明治の鳥取」

会期：11月10日(土)から平成31年1月6日(日)

第4期 「絵師から政治家へ 沖守固とその時代」

会期：平成31年1月8日(火)から3月10日(日)